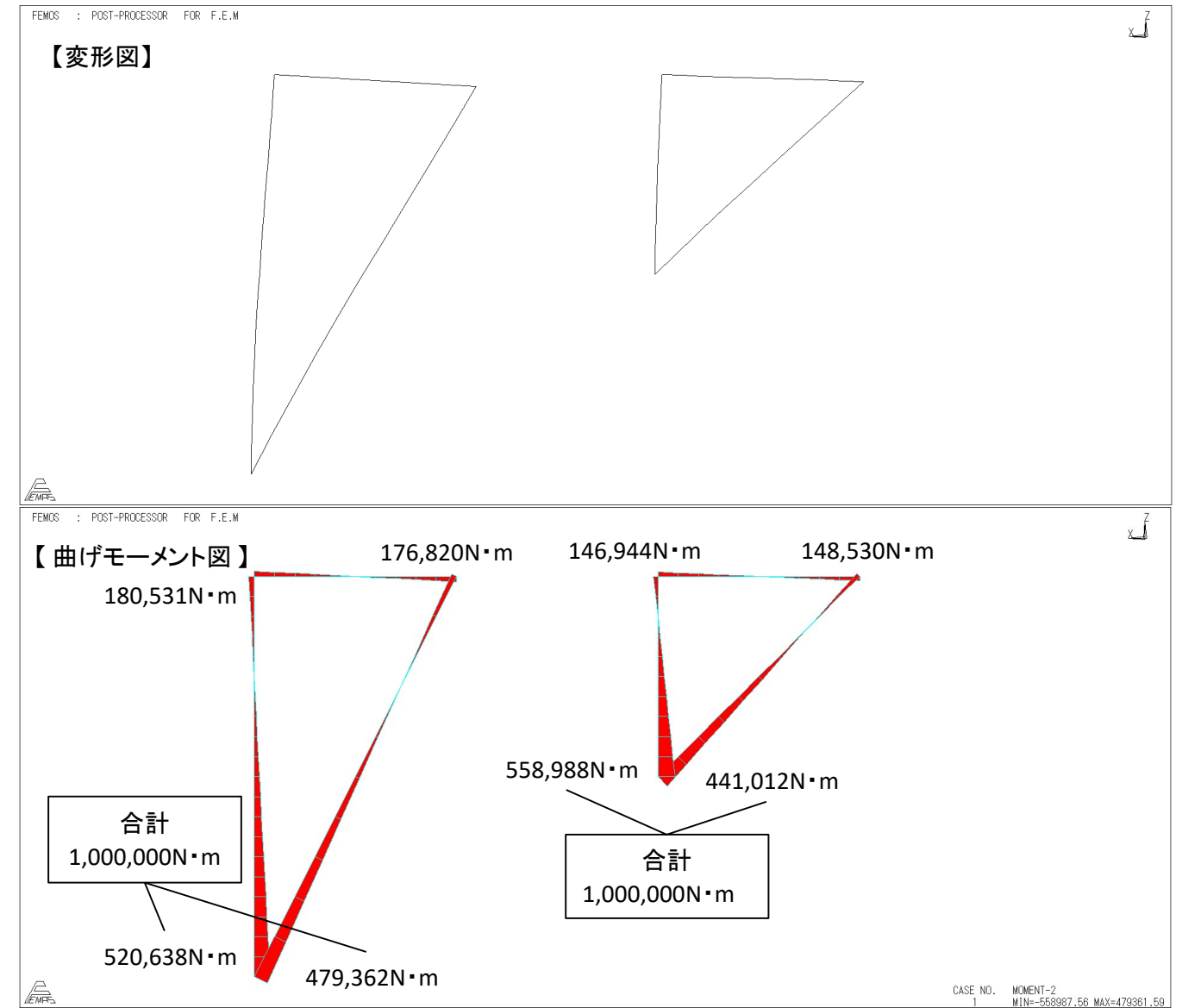
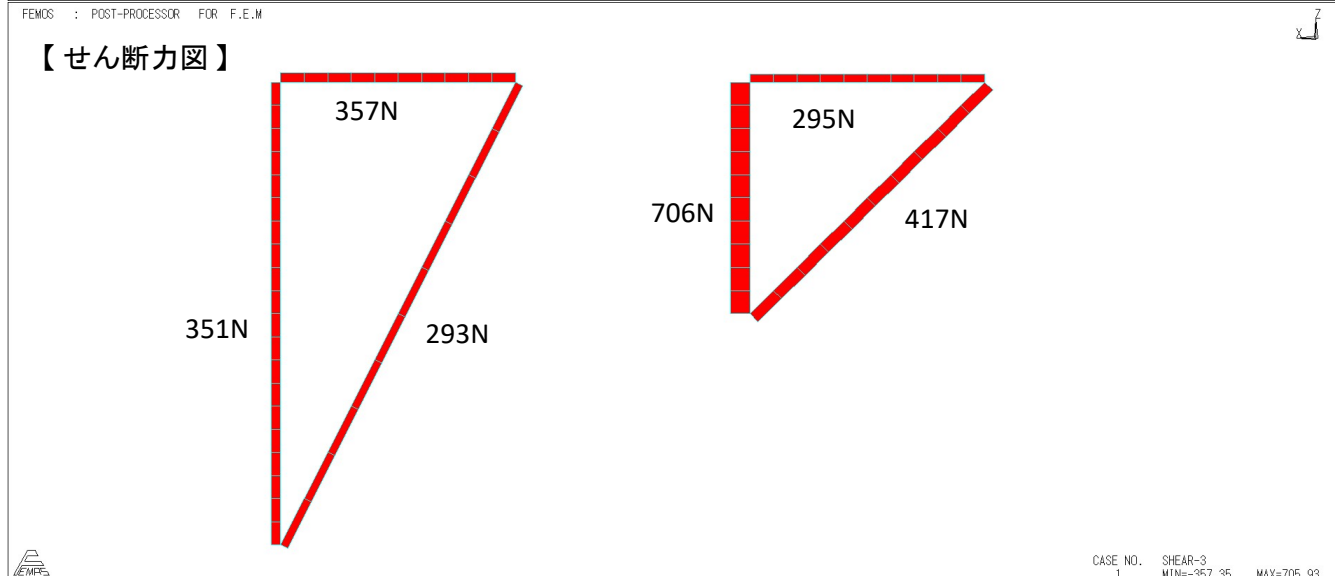
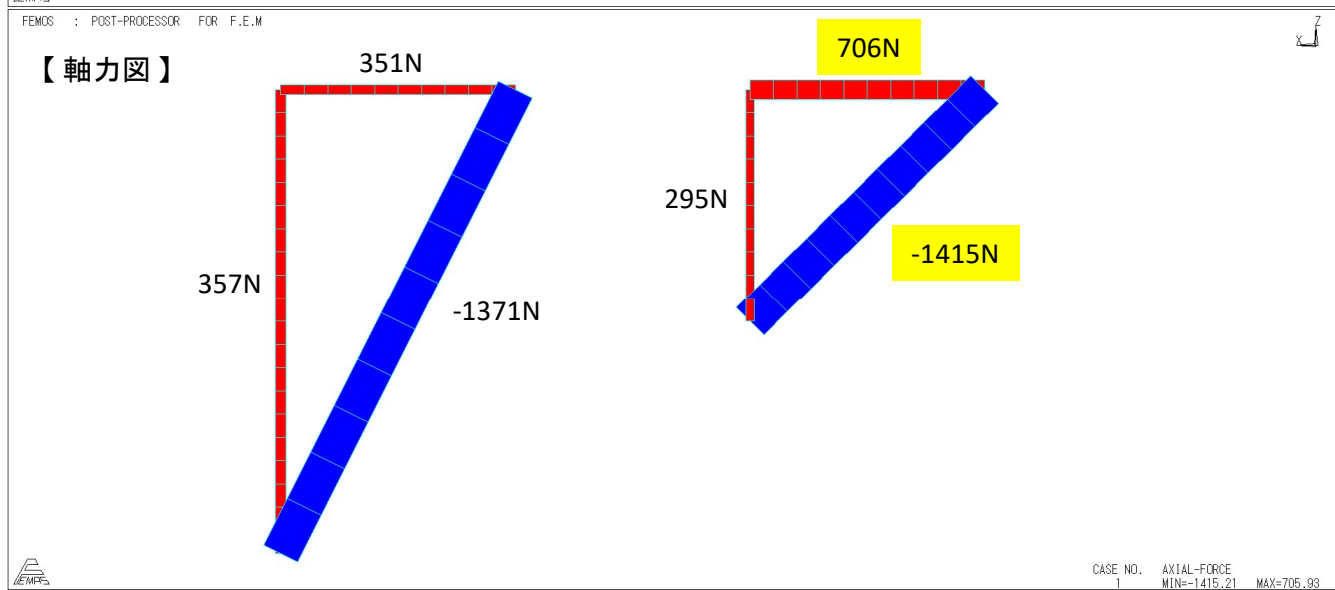
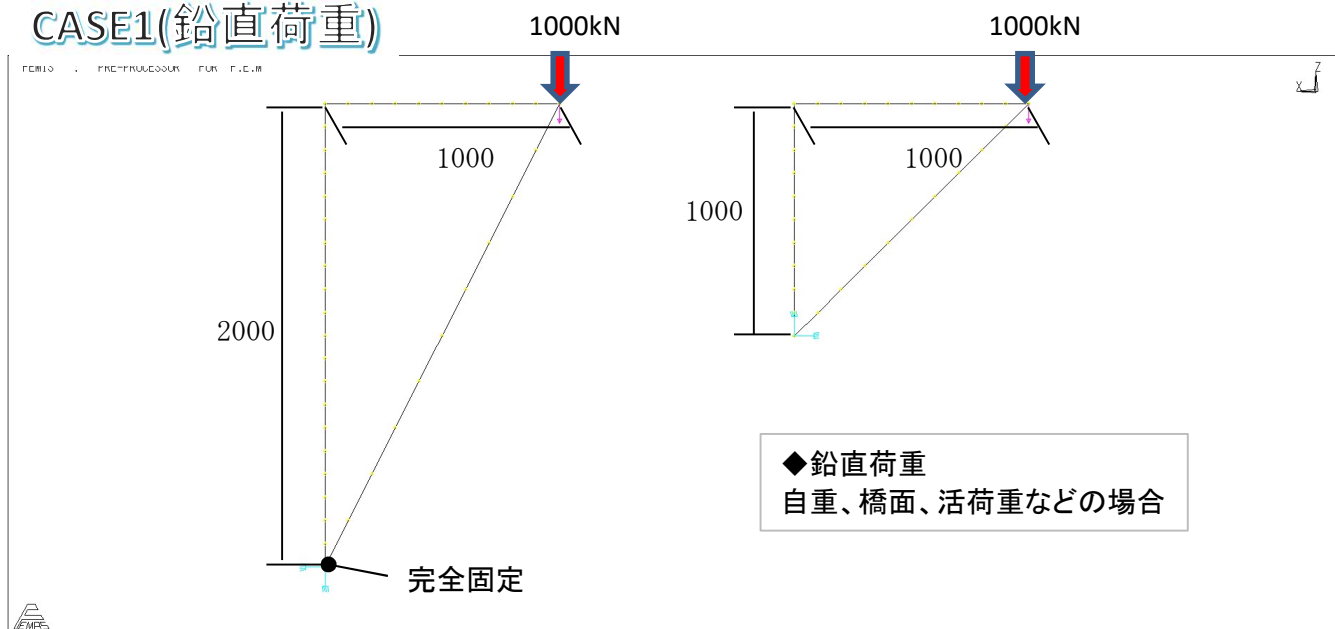


<検証性解析>

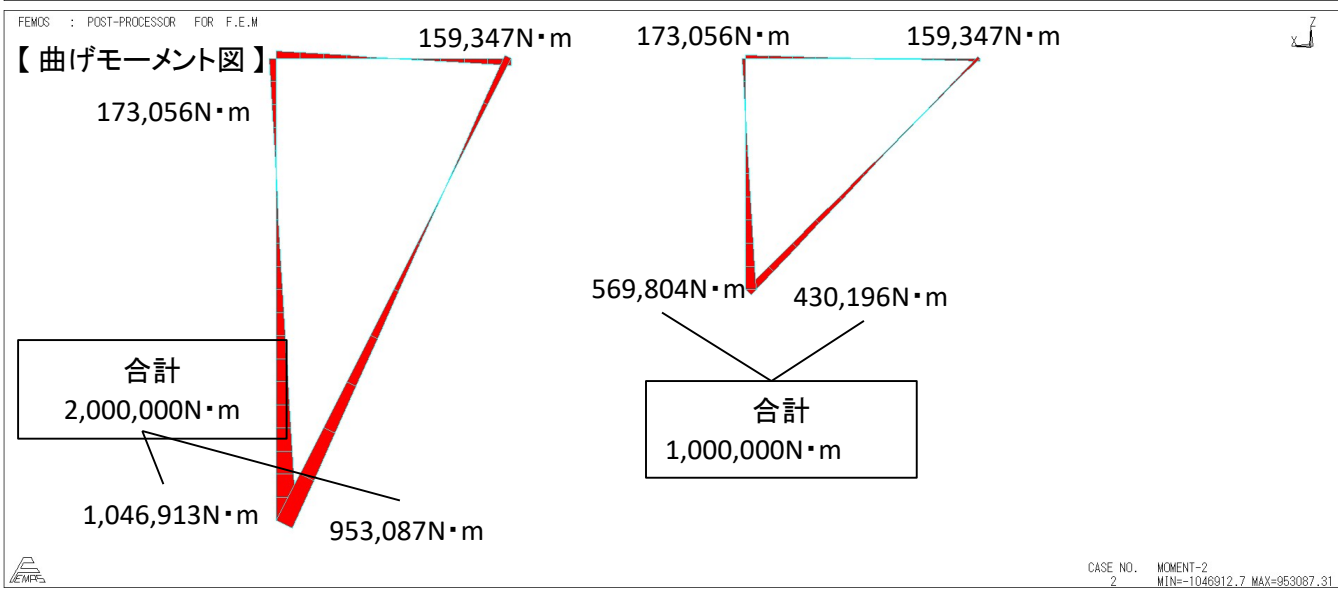
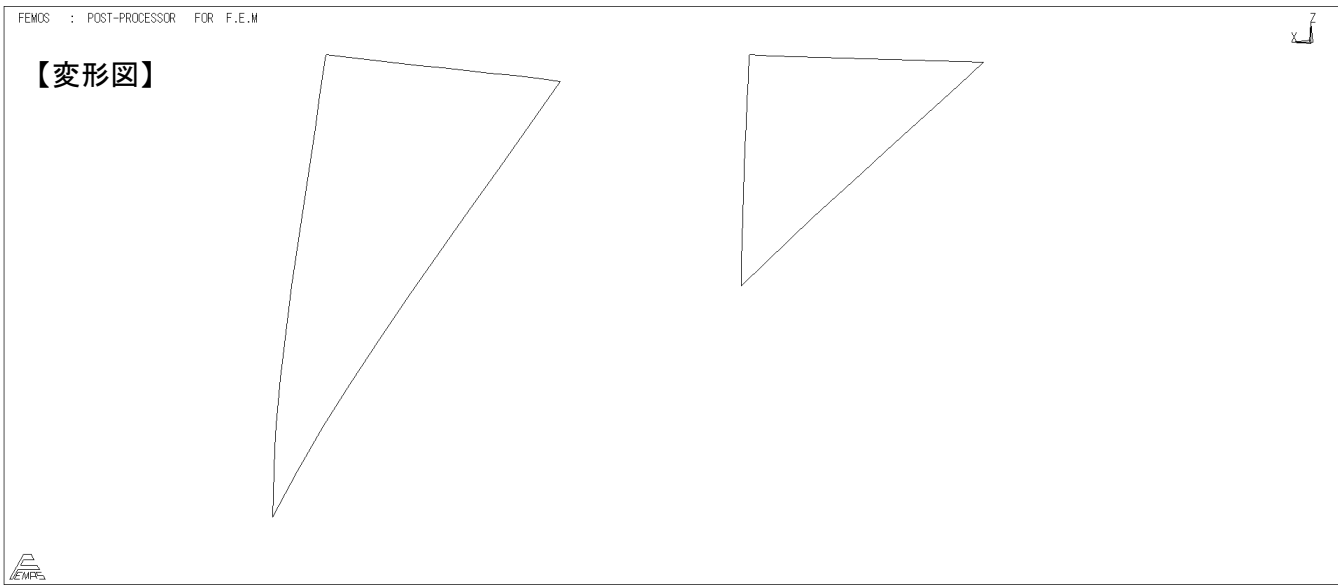
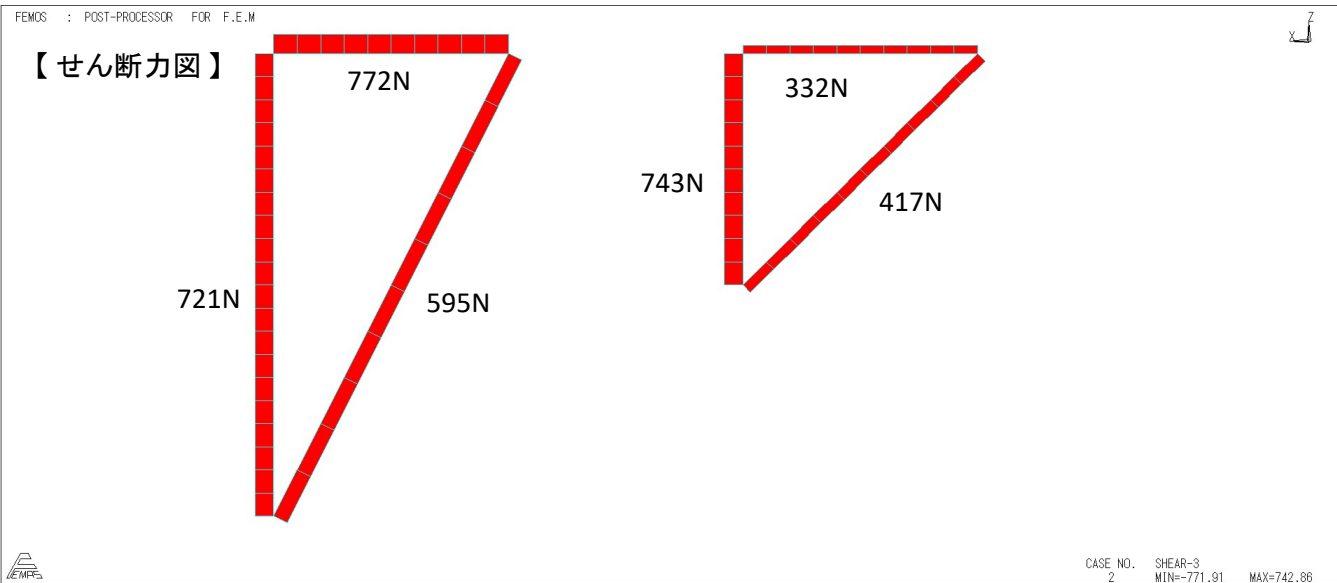
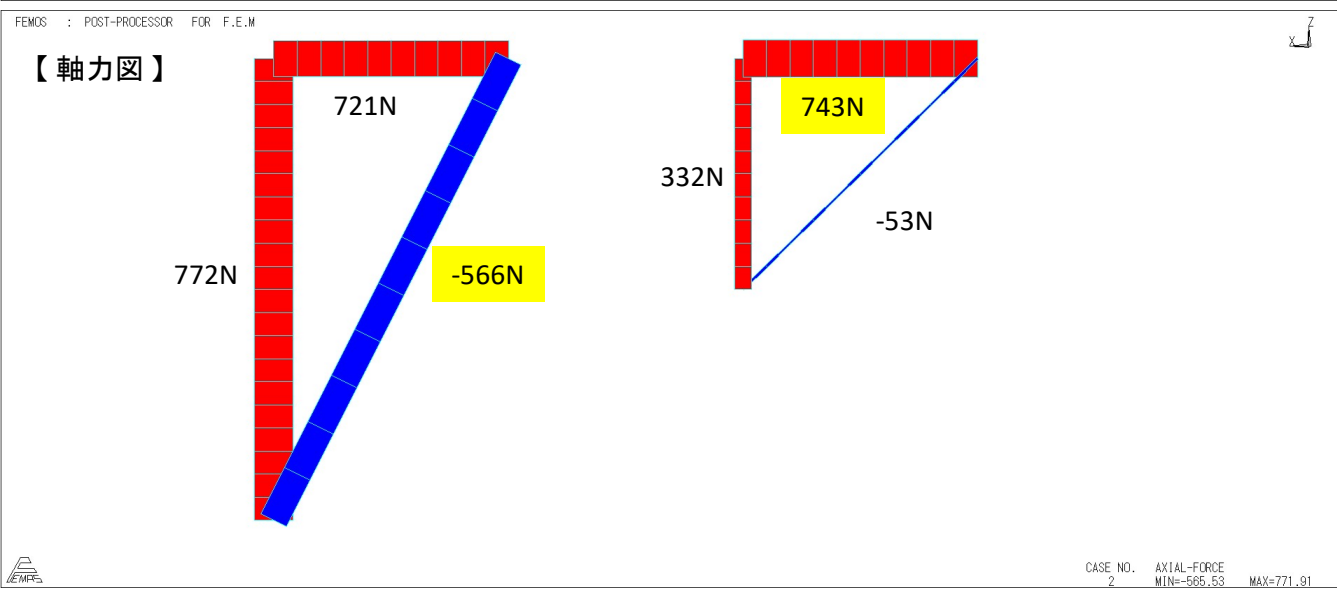
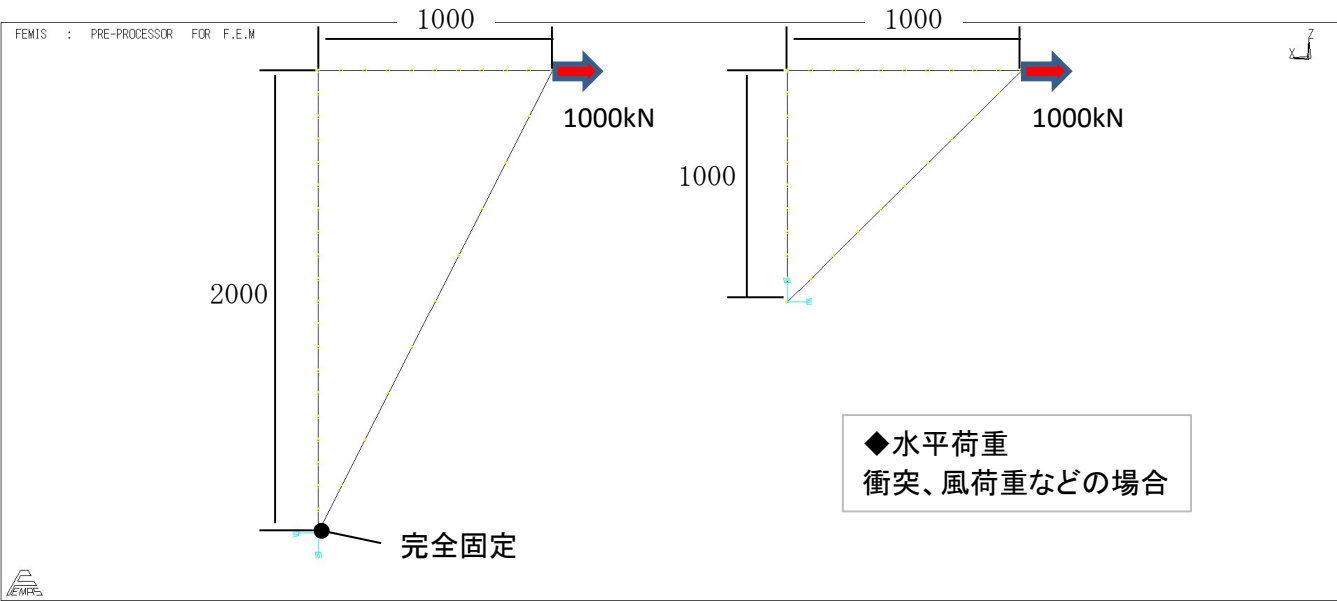
CASE1(鉛直荷重)



【まとめ】

- ◇桁高さの低い方が斜材(ストラットに相当する部材)の軸力大きい
- ◇桁高さの低い方が水平材(張出床版に相当する部材)の軸力大きい

CASE2(水平荷重)



【まとめ】

- ◇桁高さの高い方が斜材(ストラットに相当する部材)の軸力が大きい
- ◇桁高さの低い方が水平材(張出床版に相当する部材)の軸力が大きい
- ◆拘束位置でのモーメントは桁高さが高い方が桁高さ分大きい
斜材の軸力が10倍以上違う ⇒ モーメントの影響が大きい